

第7回多摩薬業連携協議会議事録(案)

日時：平成15年4月18日 18:30

場所：八王子薬剤センター駅前薬局2Fセミナー室

出席者：病薬委員：阿部宏子、阪本康典、前田良廣、吉尾 隆

都薬委：戸塚淳逸、上村直樹、堀 博昭、茂木 徹、山田哲道

山田政人、下平秀夫、

連絡協議：等淳一郎

合計 12 名

欠席者：明石貴雄、斎藤伸介、根岸 務、村田和也、

(敬称略五十音順)

■報告

・日薬誌より活動紹介についての寄稿依頼(本年6月号)があり、既に投稿したことが報告された(報告 下平)。

・現況報告として、セルフメディケーション推進委員会に日薬の立場から参加しているが、薬剤師の立場は非常に厳しいという感触がある。

薬学生の実務実習については、6年制に移行する前の実習期間としては1ヶ月とする方向であること。6年制に移行した場合、当初は6ヶ月実習とし、1ヶ月学内のプレ実習、1ヶ月病院実習、3ヶ月薬局実習、オプション1ヶ月が厚生労働省の現状の考え方。1ヶ月プレ実習、2ヶ月病院実習、2ヶ月薬局実習、オプション1ヶ月が日薬の現状の考え方である。将来的には12ヶ月、最低10ヶ月の実習になる方向である。(報告者 上村)

■決議事項

・今後、本会の名称は今まで仮称であったが、以後「多摩薬業連携協議会」とする。

・会則は南多摩地域連絡協議会の会則を基に下平が原案を作成する。

・第6回日薬学術大会(福岡)にて本会の活動について発表することが了承された(発表者 下平)。

・本年9月に医療薬学会(神戸)があるので、これは病薬委員の方で薬-薬連携について発表することが了承された。(提案者 阿部委員)

・各グループは各々が次回までに討議記録を提出することとなった。(下平まで)

■グループミーティング後の各班代表報告 (詳細は各班の討議記録に譲る)

□1. 適正な処方せんと正確な調剤

- ・メンバー 阪本康典、斉藤伸介、茂木徹、山田哲道、吉尾隆
- ・発表(茂木) 処方せん不備については内容を分類する必要がある。疑義照会については、病院側に問題があるものと薬局側に問題があるものに整理する必要がある。

□2. 患者情報の共有化「お薬手帳等の利用」

- ・メンバー 上村直樹、根岸務、堀博昭、前田良寛、山田政人、吉尾隆
- ・発表(堀) お薬手帳は特に病院で認知度が低い。活用事例の紹介をする必要がある。記載内容が薬局の評価につながる。

□3. 研修・教育

メンバー 村田和也(欠席)、阿部宏子、下平秀夫

- ・発表(阿部) 八王子東急スクエアの都市センターで「多摩薬業連携協議会研究発表会(仮称)」のため使用の仮予約を行った。

7月22日(火曜日)、9月9日(火曜日)、11月18日(火曜日)、3月10日(火曜日)

- ・本会の認印を作成することが認められた。

・次回第8回多摩薬業連携協議会は平成15年6月19日(木)18:30-

場所は、ファルマ802ビル4F 八王子薬剤師会事務所の予定。「第一回多摩薬業連携協議会研究発表会」7月22日(火曜日)の準備委員会とする。

記録者：下平